

# 在京石鳥谷町人会だより

( 題字 旧石鳥谷町長 高橋 公男 氏 )

## 在京石鳥谷町人会だより

事務連絡所 花巻市東京事務所内  
〒100-0006

東京都千代田区有楽町 2 丁目 2 番 2 号

( 数寄屋橋大雅ビル 3 階 )

TEL:03-3573-5773 FAX:03-3573-5727

事務局 〒187-0031 東京都小平市

小川町 1817-39

大竹雅夫方 TEL:FAX 042-332-3025

### ごあいさつ



在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美

会員の皆様、こんにちは。高橋弘美でございます。皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて2年連続で猛暑となった今夏でありましたが、今年は猛暑に加え全国各地で局地的な豪雨にも見舞われました。わがふるさと石鳥谷も8月9日に気象庁発表による「これまでに経験したことのないような大雨」となり、地滑りや河川の増水による田畑の冠水などの被害が出ました。実は私は、当会を協賛頂いている企業の皆様へのご挨拶や、石鳥谷まつり(花火大会)への参加、盆の墓参り、還暦を祝う小学校同級生の集いへの出席等々を目的に、図らずも豪雨の2日後となる11日に石鳥谷に参り

ました。増水した北上川はまだ濁流の色であり、川辺に近い田圃には冠水の跡があちこちに残り、まつりの会場である大正橋付近の河川敷はドロがひどく、この影響で13日開催予定のまつりは残念ながら延期になるなど、被害の復旧対応も含め地元の皆様は大きな痛みを受けてしまいました。この場をお借りしてお見舞い申し上げます。

ちなみに私が石鳥谷に足を運んだ8月11日は、全国の927箇所を観測点の中で、気温35度以上の猛暑日地点が297地点(今夏最多)となり、全国的に一番暑かった日となっております。益明けに私は大阪に戻りましたが、関西の暑さは東北とは質の違う感覚があります。自治体からは連日のように熱中症対策のための水分補給の他に、エアコンを活用するよう呼びかけがあり、昨年の節電意識からガラッと空気が変わってきました。何を隠そう小生も、朝起きたらまずエアコンスイッチオン、帰宅したらエアコンスイッチオン、休日是一日中エアコンスイッチオンと節電はおろか、朝涼み・打

水・夕涼みなどという風情のあるキーワードはどこかにつっ飛んでしまったような生活を送っていました。

さて今年の在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会は11月4日(月)開催であります。

今回の目玉はなんとといっても八日市地区の「北寺稻荷神楽保存会」の皆さんによる神楽の上演です。

こちらは伝統があり、風情・粋があり、なにより郷土愛があります。それと「八日市のつるし雛」10基の展示があります。

水不足の一方では局地的な豪雨、ホワイトアウトの厳寒・豪雪の一方では熱中症の猛暑など自然界では振り子の振幅が激しくなっています。我々の生活は振幅の少ない穏やかな日々でありたいと願いつつ、郷土芸能をしっかりと引き継ぎ、保存して頂いている皆さんの演舞には最大限の大きな感動の心を持ちたいと思っております。

役員一同、今後も頑張っておりますので、どうか会員の皆様のご協力、ご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



近隣八団体ふる里会  
「奇跡のリンゴ」鑑賞

山口 建

(新堀 出身)

4月21日(日)、在京大迫人会の主催で近隣八団体ふる里会が日比谷東宝で開催されました。

第一部は東宝の試写室で「奇跡のリンゴ」鑑賞、第二部は地階レストラン「柿安」でバイキング料理を楽しみながら近隣の皆さんと親交を深めました。

第一部で上映された「奇跡のリンゴ」は青森県弘前市で実際にあった話を作品にしたこともあって

臨場感に溢れていました。阿部サダヲ、菅野美穂を夫婦役に、山崎努、伊武雅刀、原田実枝子らベテランが脇役で二人を支えるという配役でした。物語の内容はリンゴ農家の妻が農薬に弱い体質のため、散布のたびに皮膚がかぶれたり、数日寝込んでしまうのです。

これを見かねた妻思いの夫が一念発起して、無農薬のリンゴ栽培に挑戦するというストーリーです。

もともとリンゴは品種改良を重

ねてきたデリケートな果物です。

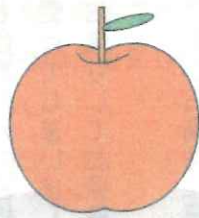
農薬は欠かせないというのが常識の中、無農薬リンゴは無謀な試みでした。何度も失敗を重ね、近隣農家、農協などからの蔑みに耐え、来る年も来る年もあきらめずに農薬に替わるものを求めて研究を続けました。しかし次第に蓄えも底をつき、これ以上家族に迷惑をかけるられないと命を断つ覚悟で森に行ったところで、文字通り奇跡が起きました。答えは土壌にあることを偶然に目にした野生のリンゴの木が教えてくれたのです。無農薬に挑戦して11年目のことでした。まさに奇跡のリンゴです。

この映画は最初から最後まで、感動の涙、悲しみの涙、歓喜の涙の連続でした。こんなに涙したのは久しぶりのことです。希望と苦闘を演じる夫婦二人の演技はもちろん素晴らしかったです。個人的には挑戦を静かに見守るそれぞれの父母役の山崎努と原田実枝子の演技が素晴らしかったと思います。

映画鑑賞の後は会場を地階レス

トラン「柿安」に移して懇親会が行われました。バイキングでしたが、和洋中華と料理のメニューが豊富でした。バイキングの列に並びながら「あれ食べた」「これ食べた」とアリの行列のように情報交換しながら、おなかいっぱいになるまで足を運びました。各テーブルとも映画の感想、料理、近況報告など楽しい会話で盛り上がりつつありました。

素晴らしい映画に心を満たされ、そして美味しい料理に舌鼓をうち、心身共にリフレッシュできたふる里会でした。



第十二回  
下町散歩に参加して

佐々木 新幸

(花巻 出身)

5月19日(日)13時から16時過ぎまで、10名の一人として初めて参加させて頂きました。スタートは晴天でしたがゴール時は曇天となり、適宜水分補給を重ね、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

事前に企画担当者の河嶋さんが下調べを行い、参加者の脚速に合わせた無理の無いコース選定となりました。JR王子駅から名主の滝・王子稻荷神社・音無親水公園と回り、飛鳥山公園へは地元出身の賠償千恵子さんの音声ガイドを受けました。

公園内には史跡・博物館・展示館等があり、老若男女を問わず大勢の人々が楽しんでおりました。都内有数の「桜の名所」でもあり、3月下旬から4月上旬は大変な賑わいであったと思います。

王子神社では、「二拝二拍手一拝」が正式参拝と知りました。地鎮祭の際は「二礼二拍手一礼」としておりましたので、今後の機会には「拝拍」を意識したいと思います。



東京十社の位置付けを実感しました。飛鳥山公園から旧古河庭園に向かう途中、日光御成り街道一里塚に寄りました。本郷通りの道路中心にあり、滝野川警察署の前ですが横断歩道もなく交通上理解しにくい感じを覚えました。途中、路上左手に平塚神社が建っており、各自が心で参拝しました。

15 時からの一時間強は「旧古河庭園」内を散策しましたが、特にバラ園が大変な賑わいでした。和服姿の女性・外国からの観光客・一人で三台のカメラを使い分けている方(相当なマニアあるいはプロカメラマンかも?)等。さすが国指定名勝と冠がつく庭園といえます。バラの花に癒されたのは私だけではないと思います。

旧古河庭園からは懇親会会場の JR 駒込駅近くの居酒屋へ 20 分程で到着。下町散策の楽しみはやはり懇親に有ります。18 時頃まで飲んで食べておしゃべりしてのふれあいになりました。

席上、企画担当の河嶋さんより「次回は世田谷・豪徳寺界限」の提案がありました。日曜日開催であれば次回も参加させて頂きたいと思

ます。

10 名のうち、東京事務所新所長の中村さんと小生が初参加でしたが、寄稿の依頼を受けてやっと会員として認められた感じでした。参加された皆様に紙面から、お礼と感謝を申し上げます。



名主の滝公園



旧古河庭園

岩手県  
岩手人連合 一会に  
参加して

佐藤 忠雄

(石鳥谷好地 出身)

6月2日(日)午前11時より日暮里駅前の「ホテルラングウッド」にて第39回目の「県人の集い」が開催されました。

参加者は約400名とのこと盛大なる総会でありました。

初めに瀬川連合会長の挨拶の後、会務報告・その後来賓として出席された達増知事、佐々木県議会議長の挨拶が行われました。

達増知事は現在の岩手県の人口は約120万人、今までに200万人の方々が県外に出ていますので、この様な各地域に於いて開催される県人会を重視してありますとのことでした。

当然のこと東日本大震災からの復興を第一として、県政を運営しておりますが、岩手県は3年後の2016年に開催される「岩手国体」の成功を期すること又国際リニアコライダー(ILC)を岩手県に誘致し、この宇宙を誕生させた大爆発ビッグバンの再現実験を岩

手で実現。などの希望に満ちた岩手を目指して頑張っている旨の講話がありました。

その後9項目の総会決議が決議され懇親会に移り、町人会からは大竹・熊谷・飯塚・吉田・佐藤が参加。各ふるさと会からも多く参加され、広くふるさと会の皆様との懇親の席を持つことが出来ました。最後に「北上夜曲」「北国の春」「故郷(ふるさと)」を全員で合唱し、午後2時半ごろ盛会裏に会を終了しました。







県人の集い



ふるさと復興支援ツアーに参加して

鎌田 陽子

(八幡 出身)

初日に、市内の宮沢賢治の詩碑に、小学校2年生の頃に遠足に来て、時々訪れていたのですが、再発見できず、最初からあの名文が書かれた訳でなく、松の林・・・のくだりから、脱字があったりと、高村光太郎の字だった事に感動しました。

小学生の時、国語の教科書にのっていて、暗記・朗読しました。賢治祭の時、「永訣の朝」を朗読して涙を流して女の人の事を想い出しました。

羅須地人協会では、花農の女子生徒が、掃除・手入れをしている事。あのマント姿の立像もあり、花巻農高の精神歌も出身校でもない人も歌っていて、市民に深く尊敬愛されて、賢治の人となりにふれ清々しい気分になり、偉大な人を誇りに思いました。

石鳥谷綱引きチーム(女子)のパフォーマンスにも大いに盛り上が

り芸達者のパワーに圧倒され、鹿踊りも見事でした。

2日目、数年振りに岩手公園を散歩。なつかしい盛岡市内をチラリみる。

藍染め体験もオンリーワンのハンケチ作り。意外に男の人がはまっていて「彼女にあげるよ。」といていた殿方もいたよ。夫の方が上出来。

啄木記念館はゆっくり観たかった。

石鳥谷酒匠館で南部杜氏の発祥地が石鳥谷だと知り、鼻高々。

田んぼアートも見学。プロジェクトの一員に同級生が参画している事、又わざわざ会いにきてくれて、皆に写真をプレゼントしてくれました。「なめとこ山」の熊のアートも見事でした。ここにも賢治の作品が開けられていた。

南部牛追い唄の美声に一段の拍手あり。法政大学の応援団長の「フレーフレ岩手」「フレーフレ花巻」に感動しました。

3日目、藤原の郷で白金豚を食べおいしく頂きました。

このツアーに参加してあらためて賢治の思想・詩や童話・農業・教育、多岐にわたっての才能の豊





・賢治の像・羅須地人協会  
 ・賢治記念館

富さを感じて、又空襲で遺品が消  
 失したのが残念でした。  
 どこに行っても人間の情の深さ、  
 温かさを感じた旅でした。  
 特にスポーツでは岩手県出身  
 校を気にしています。  
 震災でなにも協力できなかつたの  
 で、復興ツアーに参加し再認識し  
 感動しました。  
 ふるさとありがとうございます。  
 幹事さんありがとうございます。



鹿踊り・懇親会風景（花巻温泉）





ふるさと復興支援ツアーに  
参加して

藤原 寛志

(千葉市 在住)

石鳥谷町人会岩手ツアーに参加させて頂き、貴重な体験と楽しい時間を過ごさせて頂いた事にお礼を申し上げます。企画運営しタイトなスケジュールにもかかわらず、笑顔を絶やさず尽力し続けた企画運営の方々はもちろん、一緒に参加して盛り上げて下さった皆様一人一人の力が、今回のツアーの成功、そして被災地復興につながっていると私は実感致しました。

当初は復興支援を名目に行っているのだから、旅行という気持ちでは被災した地域に向かうにあたって、心構えが足りない、甘いのではないかと考えました。

ですが、報道や記事から見聞きしていくと、いつもと変わらず普段通りにする事、される事、してあげる事が、とてもやさしく、難しいことなのだと思えるようになってきました。

「どうせなら周りの人たちみんな

巻き込んで楽しんでしまおう」と、こんな感じで当日は参加した次第です。

いざ出発ともなると緊張と暑さ(Tシャツ、Gパンでくればよかつたーなどと思いつつ)そして時間間に合うかと小走りになり汗が出る出る。

東北に行けば快適な避暑生活が待つかと思いきや、関東より暑くないですか? 「もう車酔いで疲れたしゆっくりしたい」と思っているのは、自分だけで参加している皆様のパワフルなこと。元気を分け与えにきたのに情けないぞ俺。

町人会というだけあって皆様地元のようなので、行き先はおなじみの場所だったようですが、私にはとても新鮮でした。

小岩井農場も雪で埋もれている冬季にしか行った事がないので、初めての来場という感じでした。広い範囲を予定通り見て回るのには、入念な下調べと、バスの運転手の技量によるもの、流石でした。

自分はこのんびり屋なので、もっとゆっくりでも良いと思いましたが、企画運営の方々の「もっと岩手の良いところを知ってもらいた

い」という気持ちに背中を押され、たたかれながら何とかついて行く事ができました。(皆様本当に、パワフルすぎますよ)

アツという間に過ぎた3日間でした。今度はあそこに行ってみよう、次はこうしようと思いにふける中、「岩手に旅行に行ける事はめったに無い事なんだ」と考える和寂さがこみ上げてきました。旅行を企画し参加して下さいました方々、旅行に送り出してもらった会社の上司に同僚たち皆様のおかげなのだ、あらためて感謝して明日も生きていこうと思える体験でした。復興支援より逆に、自分が元気をもらった3日間でした。



渋民小学校

新婚当時の  
啄木と節子

住まい



花巻市在京ふるさと会 第3回 ふるさと復興支援ツアー  
平成25年6月16日 盛岡市渋民 石川啄木の歌碑





小岩井農場



藍染体験・ハンカチ (たきうら)



酒造館 (道の駅)



田んぼアート (なめとこ山の熊)



和やかに宴 (渡り温泉)





藤原の郷



第十三回全日本少年少女  
空手選手権大会の応援に思う

佐藤 忠雄

(石鳥谷好地 出身)

8月10日(日)第13回全日本少年少女空手選手権大会が武道館にて開催されるとのことで応援に行きました。

花巻小学校五年生の小瀬川君と小原君が参加することを聞いておりましたので、受付の方に花巻の応援席はどの辺に陣取りをしているのかを聞き、2階の応援席に伺ったのですが、他の学校も含め選手の数10倍もの応援団が来ており、花巻の応援団がどこにいるのか探したのですが見当たらず、残念ながら花巻の応援団と合流することが出来ませんでした。

小学生でこんなに空手を目指している子供たちがいるのかと驚きました。小さな武道家たちのこれからの活躍に期待しています。



在京石鳥谷町人会のホームページを開設しました。在京石鳥谷町人会で検索できます。是非ご覧下さい。皆様のご意見(掲載したい情報)をお寄せ下さい。

<http://zaikyoishidoriya.web.fc2.com/>

問い合わせ=事務局 大竹

[maoh154124@gmail.com](mailto:maoh154124@gmail.com)

年間の主な行事予定

- ※ 在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会
- ※ 花巻・石鳥谷観光物産展  
(阿佐ヶ谷すずらん通り商店街)
- ※ 下町散策会
- ※ 岩手県人の集い
- ※ ふるさと支援ツアー
- ※ 石鳥谷夢まつり

お詫と訂正

前号(13号・25年4月1日発行)で『阿佐ヶ谷にて石鳥谷物産展』のページで、物産売り場ではなく農産物売り場の間違いでした

筆者及び関係者の方々にご迷惑をお掛け致しました  
お詫びして訂正いたします

編集後記

会報の発行にあたっては会員の皆様のご協力ありがとうございます。会員皆様の会報ですので、体験記、エッセイ、最近思うこと、お気づきの点等、何でも結構ですので、投稿をお待ちしております。

会報冒頭の事務局宛お願いします。  
広報部